

地域とともに歩む 「西川町立病院」を目指して—



西川町立病院新改革プラン

「町民に信頼され、地域とともに歩む病院」を目指して

町では今年1月、総務省が示した「新公立病院改革ガイドライン」（以下「ガイドライン」）に基づく「西川町立病院新改革プラン」（以下「新改革プラン」）を策定しました。

新改革プランは、平成28年1月に設置した「西川町立病院新改革プラン策定委員会」で6回の協議を重ね策定しました。

計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5ヵ年間で、「山形県地域医療構想を踏まえた役割の明確化」「経営の効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」「点検や評価・公表」などについて、町の考え方や取り組み方法、目標などを定めています。



新改革プラン策定の背景

町立病院は、昭和27年に川土居村診療所として開設、昭和32年に西川町立病院となり、昭和52年に海味に新築移転し現在に至っています。この間、公立病院として重要な役割を果たすため、常勤医師を4人配置するとともに病院施設の増改築や医療設備・機器類の整備など、町民ニーズに対応すべく努力を重ねてきました。

しかし、医療ニーズの専門化や機能分化による入院患者の減少、国の医療費抑制政策による診療報酬改定などにより、経営は厳しくなり、一般会計からの繰入金が増加しています。

新改革プランの取り組み

町では、高齢化が進み、ひとり暮らしや高齢者夫婦だけで暮らす世帯も多く、町民の皆さんの健康と安心を守るには「医療」は不可欠です。この原点を基本に、町立病院の果たすべき役割を明確にし、町民の「かかりつけ医」の推進を図りながら「保健・福祉・介護」と連携し、地域包括医療・ケアを一体的に提供できる医療機関となることを目指してまいります。

厳しい状況の中ですが、町内唯一の、より一層身近な医療機関としての役割を果たしていくとともに、人工透析医療や在宅医療など、町民の求める医療を適切に提供する体制を整備してまいります。

- **具体的取り組みとして**
- **町民に親しまれる病院づくり**
さらなる接遇改善を図り、「来院されるすべての方が気持ちよくお帰りいただける病院」を目指してまいります。
- **在宅医療の充実**
訪問診療・訪問看護をさらに充実してまいります。
- **健診業務の強化**
町立病院の検査メニューは充実したものが、さらなる健診率の向上を目指します。
- **透析室の維持・継続**
歴史ある透析室をこれからも維持・継続できるように体制を整備してまいります。
- **専門化した外来時間の新設**
乳がん専門等の受診しやすい外来時間の設定や他科の新設に向けて検討してまいります。
- **地域と医師の関わり**
地域の「健康まつり」などに医師が出向く体制をつくりまします。
- **電子カルテの導入整備**
平成29年度から、紙カルテから電子カルテに移行してまいります。

新改革プランの実現に病院が丸丸と取り組まします

今回のプランには、たくさんの人の思いが入っています。策定委員はもとより、現場である病院職員の思い、町の議員さんの意見、また、町民の皆さんを対象にアンケートも実施しましたので、間接的ですが町民の皆さんの思いも入っています。

私自身も策定委員に入っており、初めは大変でしたが、回を重ねるごとに様々な点で認識を新たにしました。

今回のプランの方針は、「やりたいことをやるばかりでなく、求められることをやる」「病院に入られた人すべて、

患者さん、そのご家族、職員、業者さんなど、みんなが気持ちよく帰れる病院を目指す」というもので、これから職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



西川町立病院
院長 須貝 昌博

- **経費削減・収入確保**
委託経費の削減や薬品在庫等経費の削減など、職員全体のコスト意識の向上と、地域医療に関する研修を行います。
- **再編・ネットワーク化**
村山二次医療圏（特に寒河江・西村山管内）の連携強化に向けた信頼関係の再構築を図ります。
- **経営形態の見直し**
当面、地方公営企業法の財務適用のまま運営します。

● **プランの点検・評価・公表**
毎年度の決算とあわせて、町国保運営協議会で点検・評価を行い、広報等で公表します。

町立病院ではこのような取り組みにより、町民の健康と安心を守る町内唯一の医療機関として、確実に新改革プランを推進してまいります。

【お問い合わせ】
西川町立病院
TEL 0237-74-2211

新たに佐藤裕人先生が着任しました

遠藤先生に代わり、4月1日から町立病院に佐藤裕人先生が着任しました。佐藤先生は米沢市出身で、消化器内科を専門にしています。

大学生の頃にハンドボールを始め、研修医時代からはマラソン大会にも参加。現在でもランニングで汗を流すスポーツマンです。

西川町立病院での勤務について「まだ西川町のことは分からないことだらけですが、患者さんや家族の方に寄り添える医療を心掛けていきたいと思えます。分からないことや心配なことがあれば気軽に質問ください」と笑顔で抱負を語ってくれました。



佐藤裕人先生

1年間、お世話になりました

「1年間という短い間でしたが、町民の皆さんには温かく迎えていただき本当にありがとうございました。多くの方と出会い、西川町の良さをたくさん知ることができました。

西川町立病院は地域に密着した医療の砦であり、毎日、患者さんとお話しをしながら診察する中で、本当に多くのことを学ぶことができました。そして、院長をはじめ医師、看護師、病院スタッフなど多くの方からのバックアップがあり、たくさんのご協力に感謝です。

今後も、地域の医療に貢献できるよう勉強を重ねていきたいと考えていますので、よろしくお祈りします」



遠藤早紀先生